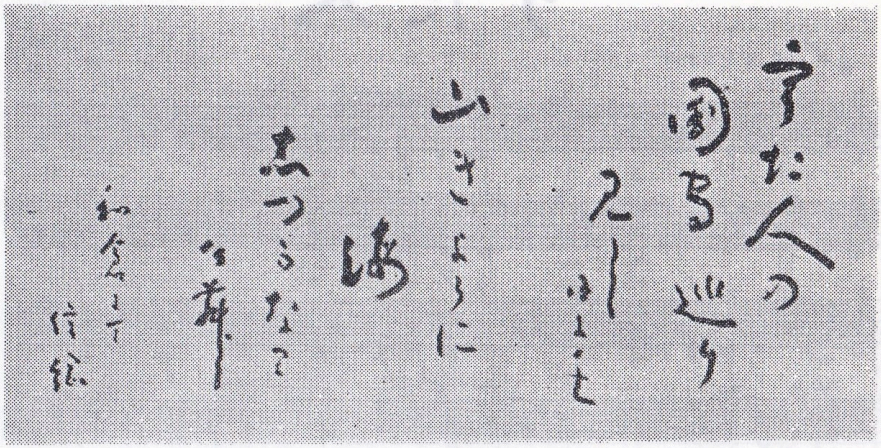


『うた人』譜

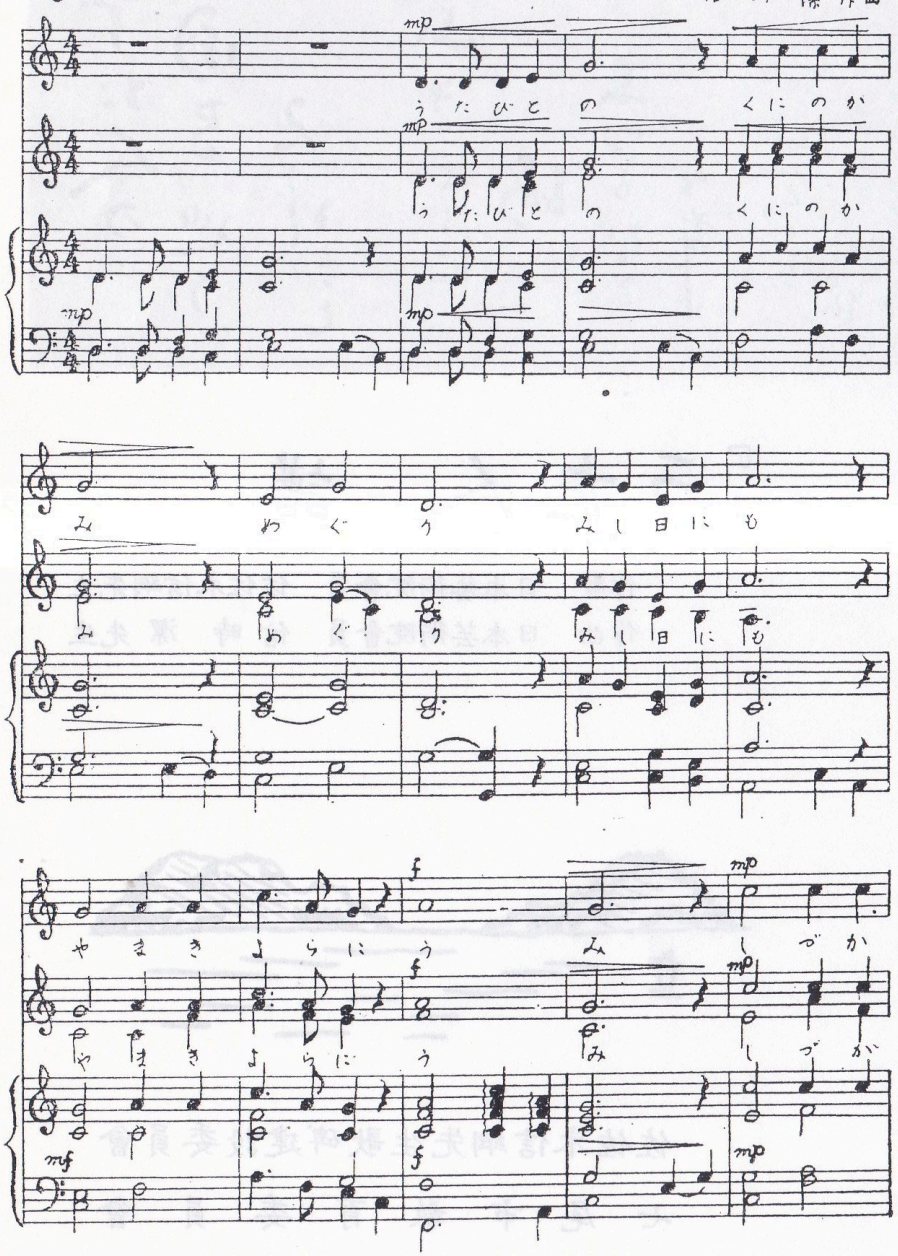
作歌　日本藝術院會員　佐佐木信綱先生
作曲　日本芸術院會員　信時　潔　先生

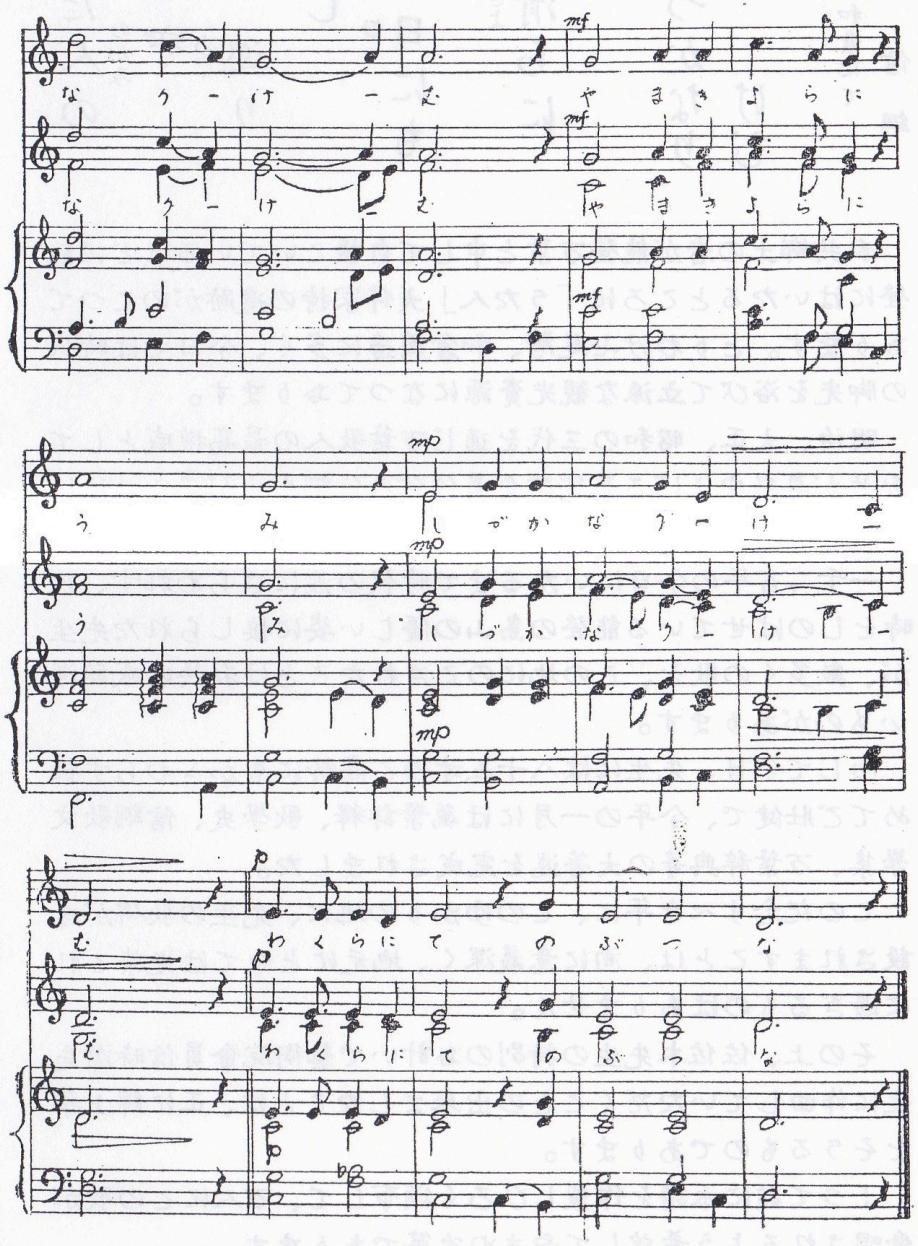
佐佐木信綱先生歌碑建設委員會
七尾市教育委員會

うた人

♩=約100 心をこめて

佐々木信綱作歌
信時潔作曲





七尾 石川印刷局印行

うた人の
國守(くにのかみ)
巡(めぐ)り
見(み)し
日(ひ)にも
山清(やまきよ)らに
海(うみ)
しづかなり
けむ

和倉にて
信綱

私共郷土の者が能登万葉と申して自慢こいているほどに能登にはいたるところに「うた人」大伴家持の遺跡がのこつております。とりわけ七尾灣、和倉周邊に多く、今日では時代の脚光を浴びて立派な観光資源になつております。

明治、大正、昭和の三代を通じ万葉歌人の最高權威として私共が尊敬申上げる藝術院會員佐佐木信綱先生が、この地に遺跡を巡訪されたのは昭和四年の五月頃でありました。

一千二百年の今日にいたるまで時代の波にさらわれず、往時をしのばせている能登の島山の優しい姿に接しられた先生が、數多くの歌を、この地にのこされたことは私共の感銘深いものがあります。

而して今日、先生には八十五才のご高齢にもかゝわらず極めてご壯健で、今年の一月には萬葉詳釋、歌學史、信綱歌文學集、万葉辞典等の大著述を完成されました。

この記念すべき年に、このゆかりの地に、先生の歌碑が建設されますことは、洵に意義深く、地元にとつては光榮これに過ぎるものはありません。

その上、佐佐木先生の特別のお計いで藝術院會員信時潔先生に作曲していただくことの出來ましたことは、正に錦上華をそうるものであります。

よつて茲に本譜を作製しひろく頒布して、万人にこの歌が愛唱されるよう希望してやまぬ次第であります。